

J R 東日本労働組合

N A G A N O

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2016年 1月26日 No. 186

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：篠原和幸

編集：情宣部

冬期体制真っ只中！気を引き締めて冬を乗りきろう！

今年の冬は昨年とは比較にならないほど寒さが厳しく、平地・山沿い関係なく断続的に雪が降り続けています。特に飯山線沿線や大糸線の白馬・南小谷付近は年明けから毎日のように雪が降り、除雪が間に合わず列車に多数運休や大幅な遅れが発生しています。

昨年12月15日から冬期体制に入り、今はちょうど冬期体制の約半分が経過しました。各職場において冬期体制のルールは守られていますか？無理な命令を受けざるを得ない、無理してでもやるのが当たり前になっているなどの状況はありませんか？当たり前ですが、私たちの仕事は「安全第一」です。過去に

おいては、青柳事故のように痛ましい事故が発生しています。



今一度、各職場においての冬期体制のルールを確認していただきたいと思います。そして、何かおかしい・不安な事がありましたら、まずは分会で問題点を明確化して取り組んでいただきたいと思います。そして、分会・支部で解決ができない問題がありましたら、長野地本まで連絡をください。

冬期体制終了まで、誰もが怪我なく無事に仕事ができるように、仲間同士声を掛け合い、気を引き締めて組合員それぞれが奮闘していきましょう。

「安全第一」で仲間の連携を密にしてがんばろう！